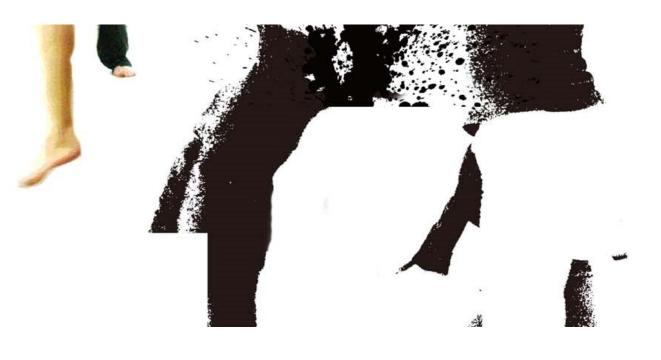


2013.3.7-11 Proto-theater

夜がやってきてブリキの切り屑に映るお前の影をうばうだろう2

When the night come, Will it rob you of your image reflected in the broken fragments of tin.



~聖へ捧ぐ

●構成・出演 Performer

中島彰宏

Akihiro Nakajima

原田拓巳

Takumi Harada

小椎尾久美子

Kumiko Kojio]

洪承伊

Hong Seung-Yi (Korea)

大澤竜太

Ryuta Osawa

野井杷絵

Wae Noi

●監修・演出Director

大橋宏 Hiroshi Ohashi

●助成 Supported by

日本芸術文化振興基金 JAPAN ARTS FUND

●企画・制作 produced by

 $DA \cdot M$

時に、わたしたちは理解できないものごとに出会うときがある。しかしだからといって、そこに意味がなといういわけではない。ただ、それを説明する言葉が用意されていないだけなのだ。人々の妄想と思われていた「夢」も、19世紀初頭それを解釈する言葉をフロイトが用意したとき、夢ははじめて意味があるものとして語られるべきものになった。たとえば、音の流れにリズムや旋律がないからといってそこに意味、つまり音楽がないわけではない。日本の楽器尺八は、西洋的なリズムや旋律はないかも知れないが、それとは違う解釈があり、違った聴き方、楽しみ方や世界観がある。同様に、舞台上の行為に読み取るべきストーリーや言葉がないからといって、あるいは体の動きに形やリズムないからといって、そこに演劇やダンスがないわけではないのだろう。ただ、眼前の行為を見る・聞くための言葉が用意されていないだけなのだ。解釈する言葉がみつからないとき、われわれは「わからない」「難しい」ものにしてそれを受取める新たな言葉を探す努力を怠り切り捨ててしまう。テレビで報道される痛ましい事件の数々を前に、解説者たちは一応に動機理解不能と言い放ち個人の心の闇に責任転嫁し自らとの係わりを断ち切って、社会から葬り去ってしまう。

「9.11」以来、わたしたちは言葉を奪われ去勢され、「繁栄」「発展」を謳う虚妄言語を 日々量産し、その闇に蓋をし続けてしまっている。

だからと言うわけではないが、これまでの演劇やダンスを支えてきた言語でお膳立てする舞台から抜け出してみたいとここ数年思っている。そうした言葉の中に実は、古臭い権威、嘘くさいヒューマニズム、巧みな商魂が見え隠れするのが透けてみえてくるだ。その圧力や誘惑から逃れようとする時、わたしたちは沢山のものを失うかも知れない。が、しかしそこ残っている、今、ここ、に流れる時間はかけがえのないものなのだ。それはだれもにも等しく流れる時間(日常)であり、あるいは誰にも容赦なく襲ってくる過酷な時間(死)でもある。確かにここにあるが、しかしつかめどもつかめない、寄る辺ない時間。怖くも難しくもあるが、その時間に飛び込んで、あわよくば外部に広がるだろう悠久の時間の流れとなって、そこで生かされる名もな生が少しでも生まれればと願いたい。

本日はご来場ありがとうございました。

大橋宏





1996年よりDA・Mとともに舞台にて闘ってきました八重樫聖が、2月20 日永眠いたしました。

2011年癌を患い、以来闘病しながら劇団活動を続け、本公演の準備・ リハさールにも今年1月まで参加しておりましたが、1月31日再入院。 復帰に強い意欲を燃やしているところでした。

生前みなさまよりうけたまわりました沢山のご厚情に深く感謝申し上げます。

黙祷

【以下、本公演に八重樫が用意していました「モチーフメモ」です】

・白いダンス 布の陰にて

・stone 石を並べながらその上を歩く

「土手は水浸しだ・・」

・ハイヒール 石ころの山でヒールを脱ぎ、

履きのくりかえし

・flower うたと微笑みと花

つま先立ち 花をさして 花をくわ えて

・狂おしい夜/l'm fool to want you

床にて

[ほーら ほら ほら ごらん さあ ほら]

・黒い帽子 壁の隅に



中島彰宏

1973年横浜に生まれる。2000年より劇団DA・Mにて活動し、アジア・ミーツ・アジアにも継続的に参加している。2006年よりソロ公演「Zatoichi抄」、アーティストとのコラボレーション「断続的対話」「Earnest Struggle with Buddha」も行っている。

Born in Yokohama in 1973. Active both in DA·M and Asia since 2000. In 2006, appeared in the solo performance "Zatoichi Sho", followed by collaboration pieces, "Intermittent communication" and "Earnest struggle with Buddha"



原田拓巳

84年舞踏家宇野萬氏に師事。90年からソロ活動開始。他アーティストとの国内外公演にも多数参加。平行して「DA・M」、「開座」、「アジア・ミーツ・アジア」に参加。最近のソロ作品;2012年よりScarecrowシリーズ「風によって吹き上げられし塵が、雨より静まるが如く--」等にて上海公演、香港公演。

Studied Butoh dance under Uno Man Company since 1984. Started solo works since 1990, in parallel with participations in works of "DA-M", "Kaiza" and "Asia meets Asia".Latest works: "Scarecrow 1", "Scarecrow 2" (2012) in Tokyo, Shanghai and Hong Kong. New work in 2013.



小椎尾久美子 kumiko Kojio

1982年博多生まれ。大阪・神奈川育ち。桐朋短大演劇専攻卒。高校生のころより踊りはじめる。 現在パフォーマンスユニット Bebe⇔ビビ メンバー。吉沢恵、伊藤直子、冨士山アネット などの作品に参加。2011年よりAsia meets asia、2012年より劇団DA・Mへ参加。

Born in Hakata in 1982 and brought up in Osaka and Kanagawa. Started dancing in High school and currently a member of the performance group "Bebe". Participated in pieces of Megumi Yoshizawa, Naoko Ito and Fujiyama Annette, etc. In 2011, started to work with "Asia meets Asia" and with DA·M in 2012.



2007年、Labour Culture Art Troup ILTERに加入。2001年~2005年、Korea People's Teather Association Education にて演技・戯曲を学ぶ。2006年、East Asia Trainer's Training ワークショップに参加。2007年、Mime Troup のDan Chumly 演出による、台北のASSIGHNMENT teatherと釜山のILTER troup の国際パフォーマンス交流 に参加2008年、Play Ground Teather SHIIMを設立 他GilAlonや王墨林(台湾)の演出作品に出演

At 2007 joind Labour Culture Art Troup ILTER Among 2001~2005 graduation of Korea People's Teather Association Education. At 2006 joned East Asia Trainer's Training Workshop At 2007 international exchange performance between ASIGHNMENT teather in Taipei and ILTER troup in Busan. At 2008 found Play Ground Teather SHIIM Untill 2012 'Soft Lighed Roon' directed by GilAlon-Israel, 'Mon, Bye' directed by Wang MoLing' Invisible Village' made by ASSIGNMENT teather, joned.



八重樫聖Sei Yaegashi

1980主宰・演出樋口隆之,作家岸田理生の哥以劇場入団より演劇活動開始。1982~1993演出和田喜夫,作家岸田理生共同主宰の岸田事務所+楽天団創立に参画、在団。海外公演を含めほとんどの公演に出演参加。全34作品中29作品。1993よりフリーとして活動。元祖演劇乃素いき座,劇団ぼっかめろん,池田火斗志プロヂュース公演、ん・ごま企画など。1996~より劇団DA・Mの海外公演を含む全公演に参加,出演。1997より開始されたアジア現代演劇交流<Asia meets Asia > へも参画率先する。2013年2月20日逝去(享年57歳)。

Began the acting career at "Kai-gekijou" (writer Rio Kishida) in 1980. Active with the theater company "Kishidajimusho + Rakutendan" as one of its founding actors from 1982 to 1993 when she became a freelance performer. Worked with DA·M from 1996 and officially joined them in 2001 to appear in projects both in Japan and other countries. In the meantime, participated in Asia meets Asia in 97 and active as one of its leading members.





夜がやってきてブリキの切り屑に映るお前の影をうばうだろう2

舞台美術 Set designer 吉川聡一 Soichi Yoshikawa

山崎久美子 Kumiko Yamazaki

衣裳 Costume ひじりHijiri

舞台監督 Stage manager 大澤竜太 Ryuta Osawa

音響協力 Sound cooperation Naoki Okada

通訳 Translation チェキュハ Chekyuha 協力 Cooperation 遠藤徳恵 Norie Endo

> 松島仁美 Hitomi Matsushima 武内紀子 Noriko Takeuchi 小林千里 Chisato Kobayashi

野井杷絵 Wae Noi 大橋いくみIkumi Ohashi

ようくん You

照明 Lighting 阿狩屋 Akariya

宣伝美術 Poster design 原田隆司 Ryuji Harada 記録写真 Photography 田中英世 Hideo Tanaka 中村和夫 Kazuo Nakamura

記録ビデオ Recording video たきしまひろよしHiroyoshi Takishima PLASTIC RAINS

助成 Supported by 日本芸術文化振興基金JAPAN ARTS FUND

企画·制作 Produced by DA·M

Information

■連鎖する日常/あるいは非日常の17日間・展 ヒグマ春夫の映像インスタレーション&コラボレーション

小椎尾久美子 3/21(木) 15:00~16:00 会場: A・Corns Gallery

中島彰宏 3/27(水) 15:00~16:0 詳細はhttp://higuma.art-studio.cc/x/x/x-1.html

■ アジア・ミーツ・アジア2013 < アジア・ツアー2 > 2013年9月

Tokyo—Jogjakarta (Indonesia)—Bangalore (India)—HongKong

Asia meets Asiaでは、主に東京を中心に1997年より6回のフェスティバルと10回の共同創作公演の実施をを通し、(東西、南、中央)アジア19地域からの舞台芸術家たちとの交流を深めてきました。次の段階としまして、昨年よりアジア各地での活動を目指し初のアジアツアー〈台北一香港一バンガロール〉を行い、近年の代表作2作品を各地にて上演し多方面からの賛同を得てきました。本年のアジアツアー2にてその継続と発展を目指します。

■プロト·シアターご利用案内

「都会の空き地」に自由な想像力を生み出すオルタナティブスペース。独自の存在感を発揮1988年以来、演劇・ダンス・パフォーマンス・お笑いライブ・上映等様々なジャンルの公演・ワークショップが行われてきました。

1997年よりはアジア現代演劇交流<アジア・ミーツ・アジア>の拠点劇場になる。

○公演使用 平日¥38000 土日祭日¥40000 ○ワークショップ ¥3000/h

)リハーサル 10-18:00 ¥1500/h 18-22:00 ¥1800/h ほか、展示、公演直前建て込みリハーサル等ご相談ください。

■DA·M劇団員募集

DA・Mでは劇団員を募集しています。出演・照明スタッフ・制作スタッフ、意欲ある方、根気ある方、海外交流である方、舞台表現基礎力をつけたい方、未知への挑戦に勇気ある方、冷やかしの方、だらしない方で大歓迎で見習い可。詳細はお問い合わせください。(経験、年齢、容姿、性格、国籍、年収不問)

○DA・Mでは時々、体と心が怠けないようトレーニング&ワークショップを行います。 日時のお知らせをご希望の方は以下にご連絡先をお知らせください。

DA·M office

Tel&fax 03-3360-6463 HP: http://www.dam-theater.com E-Mail; dam@mbh.nifty.com 〒164-0003 東京都中野区東中野5-29-20 井上ビル201

